

震生湖誕生100周年記念・関連事業

生涯学習課

秦野市震生湖100周年記念事業検討懇話会

地元の団体代表者や市観光協会、地質の専門家をメンバーに、さらに秦野市・中井町の関係課をオブザーバーとして設置し、記念事業等の検討を行った。

構成	南地区自治会連合会 正副会長、震生湖部会 震生湖開発地主組合 組合長 南はだの村七福神と鶴亀めぐりの会 正副会長 秦野市観光協会 会長 秦野福寿弁財天奉賛会 箱根町企画観光部企画課専門員	オブザーバー	中井町 ・産業振興課 観光振興担当課長 ・生涯学習課長
----	--	--------	--------------------------------------

令和4年度（プレ）

写真展

震生湖に集まる人々の様子や、湖畔の風景などの写真展「震生湖 あの日あの時」を開催した。

とき	令和4年8月～10月
場所	・はだの歴史博物館 ・南公民館 ・南が丘公民館



ミュージアム青空レクチャー

専門家を講師に迎え、震生湖周辺の現地見学会「再発見 震生湖」を実施し、約30名が参加した。

とき	令和4年9月10日（日）
場所	震生湖周辺
講師	箱根町企画課箱根ジオパーク推進室 笠間友博氏



令和 5 年度

ミュージアム青空レクチャー

専門家を講師に迎え、震生湖周辺の現地見学会「地形・地質から探る震生湖」を実施し、約30名が参加した。

とき	令和5年5月27日(土)
場所	震生湖周辺
講師	箱根町企画課箱根ジオパーク推進室 笠間友博氏



座談会

検討懇話会メンバーのほか、震生湖にゆかりのある地域団体の代表者等により、震生湖との関わりや活動、まつわるエピソードなどを記録として残すため、座談会を開催した。

とき	令和5年6月7日(水)
参加者	南地区自治会連合会 正副会長、震生湖部会 震生湖開発地主組合 組合長 南はだの村七福神と鶴亀めぐりの会 正副会長 秦野市観光協会 会長 秦野福寿弁財天奉賛会 元南婦人会 会長



※座談会の記録は、記念誌に掲載。

はだの歴史博物館企画展

(神奈川震災100年プロジェクト(神奈川県博物館協会)連携事業)

・企画展「震生湖 保存と活用の歩み」

誕生から100年を記念し、これまでの100年を写真とともに振り返り、これからの100年を考える内容の展示。

とき	令和5年7月15日(土)～9月24日(日)
場所	はだの歴史博物館 第二企画展示室



・企画展「関東大震災、その時秦野では。」

震災に当たり、秦野で起こった出来事や、市内に残る体験談や供養塔、その後の様子などを写真や文献により紹介し、防災や減災意識を高め、未来へ教訓を伝える内容の展示。



とき	令和5年8月5日(土)～10月14日(日)
場所	はだの歴史博物館 第一企画展示室

公民館事業

・ハイキング「初夏の震生湖と渋沢丘陵」【北公民館】

とき	令和5年6月27日(火)
場所	秦野駅～震生湖周辺～渋沢丘陵～渋沢駅



・夏休み親子向け「震生湖昆虫観察会」【南公民館】

とき	令和5年7月29日(土)
場所	震生湖周辺



はだの生涯学習講座

防災士を講師に迎え、中井町と連携し、秦野市と中井町の親子を対象とした防災講座を行い、親子11組約27名(大人11名、子ども16名)が参加した。

とき	令和5年8月19日(土)午後1時30分～3時
場所	本町公民館
講師	料理研究家・防災士・食品ロス削減アドバイザー 島本美由紀氏
対象	秦野市及び中井町の親子



震生湖誕生100周年記念式典

震生湖誕生100年を記念し、式典を開催した。文化庁文化財調査官の柴田^{ただひろ}伊廣氏による講演、南小学校による震生湖学習の成果発表等を行った。

日時	令和5年9月2日(土) 午前10時～午後0時15分	
場所	クアーズテック秦野カルチャーホール (文化会館)小ホール	
来賓	・秦野市議会議員 ・国会議員(牧島かれん衆議院議員、井上義行参議院議員)	
	・県議会議員(神倉寛明氏、谷和雄氏) ・中井町長(戸村裕司氏) ・秦野商工会議所 会頭	
招待	検討懇話会、教育委員、社会教育委員、文化財保護委員、地元団体(役員等)、中井町境別所自治会役員	
一般	公募参加希望者105名(定員150名)	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・記念講演 「震生湖の魅力と災害遺構のこれから」(柴田伊廣氏 文化庁文化財調査官) ・発表 「震生湖学習の成果発表」(秦野市立南小学校 児童) ・公表 「太鼓橋架け替え計画」 	

記念誌作成

震生湖のこれまでの歩み、地元の方々からの体験談や思い出、座談会記録等を掲載した記念誌を作成し、ホームページで公開するとともに、記念式典参加者へ配布した。

発行部数	500部
規格	A4サイズ、52頁
寄稿	<ul style="list-style-type: none"> ・「震生湖形成の地球科学的背景」 箱根町企画課箱根ジオパーク推進室 笠間友博氏 ・「関東地震(1923年)による丹沢山地の土砂災害と震生湖」 一般財団法人砂防フロンティア整備 推進機構 井上公夫氏



ホームページで、
閲覧可能

市木沢デジタルコンテンツ作成

地震の影響を残す断層が観察できる市木沢の露頭について、360度撮影を行い、教育の場等で活用できるデジタルコンテンツを作成、公開した。

作成期間	令和5年9月公開（4月～8月で作成）。記念式典会場でも公開
仕様	<ul style="list-style-type: none">・ウォークスルー機能を設けたビューワー形式。・インターネット上での公開、閲覧が可能。・中学校の理科のカリキュラムとリンクした解説文を掲載し、学校教育の場でも活用が可能なもの。



その他（小・中学校における防災学習）

国登録記念物である震生湖が、関東大震災の規模の大きさを今日に伝える地質遺産であるとともに、震災遺構であることを引き継ぐために、令和5年度において、地元を中心とした小中学校5校との協働による防災学習や成果発表等を実施した。

- 南小学校では、記念式典当日に、クアーズテック秦野カルチャーホールにおいて、震生湖をテーマとした学習について発表を行った。
- 南が丘中学校では、生涯学習課職員による出前講座で、震生湖の歴史等について学習するとともに、「防災推進国民大会2023」に参加(パネル出展)した。
- 南が丘小学校及び本町小学校では、震生湖をテーマとした総合学習に取り組み、「防災推進国民大会2023」に参加(パネル出展)した。
- 南中学校では、震生湖をテーマとして、生徒が絵画等の作品制作並びに寺田寅彦の句碑に関する学習のうえ、子どもの市展等に出品した。
- 市内全ての小中学生が希望参加となる「はだのっ子アワード」体験部門において、南地区では震生湖誕生100年バージョンを企画し、子どもの市展等に出品した。

その他関連事業

〇総合防災訓練（防災課）

令和5年9月3日（日）に実施した総合防災訓練において、全広域避難場所に消防団を派遣して、関東大震災の教訓を踏まえた初期消火訓練や応急処置、搬送法などの消防団訓練を実施した。また、各自治会で選択したメニューの実施とともに、震災を振り返る体験記（冊子）を用意し、市内で起こった災害を知り、備えの大切さを学んでいただいた。

〇太鼓橋の架け替え（観光振興課）

本市と中井町をつなぐ太鼓橋について、老朽化が進んでいることから、令和6年度の架け替え(着手)を計画。詳細設計段階のパース図を、記念式典で披露した。

〇子どもの市展・震生湖題材作品の募集・表彰（文化振興課）

美術の部及び写真の部において、自由題の作品に加えて震生湖の写生・撮影作品を令和5年9月1日(金)~2日(土)に募集し、9月28日(木)~10月1日(日)にクアーズテック秦野カルチャーホール（文化会館）に展示。また、各部門の震生湖作品の中から優秀な作品に対してそれぞれ賞を授与した。

〇俳句大会の開催（文化振興課）

例年秋に開催している秦野市文化祭俳句大会（令和5年11月26日(日)開催）において、震生湖をテーマとした作品を募集し、優秀な作品に対して賞を授与した。